

ナンバリング	B⑥01	科目名	専門総合演習 「他者理解を試みる～様々な当事者に出会う～」		担当教員	大村 あかね	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		担当形態	単独			
テキスト	資料を適宜用意します。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期
講義概要 ■到達目標 他者への想像力を持ち、当事者としての自分を語る大人になっていくために、本授業では「当事者」というキーワードを立て、以下のことを目指します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な当事者の語りに謙虚に耳を傾け、その体験世界を知って感じたことを言葉にすることが出来る。 2. 他者を理解する自分の視点を、相対的に捉えることができる。 3. 自ら取り組みたい課題を見つける。 ■授業の概要 どのような人も、特定の他者と出会い、時間や空間を共にしたり、かかわりを持ちながら生きており、それはこれからは続きます。それは職業人としても、対人援助職に限らず言えることです。 保育者であれば、子ども、保護者、同僚、上司等、更にそのような一般的な枠組みとどまらない、「その子」「その人」たちとの関係の中で、生きていくのです。 当事者としての「その人」の体験を知ろうとすることは、共に生きていく上で、とても大切なことです。究極的にはその人にならない限り分からないことだとしても、その人の書いたものや語りから、その人にとっての事実を知ることが出来ます。 そして、私たち自身も、様々なことの当事者です。他者を理解しようとするを通して、実は自分がどのような当事者なのかを自覚することに繋がっていきます。 授業の終わりには、一人ひとりが、自分の課題・関心を見いだすことを目指します。 ■授業計画 第1回 オリエンテーション 自分の興味・関心を探る 第2回 当事者の体験を知る①（障害者の世界に出会う） 第3回 ふりかえりトーク・まとめ① 第4回 当事者の体験を知る②（親となった人に出会う） 第5回 ふりかえりトーク・まとめ② 第6回 当事者の体験を知る③（保育の当事者に出会う） 第7回 ふりかえりトーク・まとめ③ 第8回 教育実習期間に向けて 第9回 教育実習期間をふりかえって 第10回 当事者としての私①（マインドマップで明確化する） 第11回 当事者としての私②（語り合う・自己理解を深める） 第12回 新聞記事からみつけよう（多様な他者、他者が携わる活動） 第13回 図書館で調べよう（新聞記事をきっかけに、調べを進めてみよう） 第14回 他者とのかかわるために（FWの心得） 第15回 取り組みたい課題について発表しあう ■準備学習 ・あらかじめ提示された参考資料は、読んで理解した上で臨むこと。 ・提示された課題に取り組み、期限までに提出すること。 ■評価方法 ・話し合いや演習への積極的な参加 — 40% ・小レポート — 20% ・課題発見への取り組み — 40%							
参考文献	随時紹介します。			特記事項	小レポート、レジュメ等は全てPCで作成すること。 【課題等へのフィードバック方法】 小レポート等の提出物は、必要に応じてコメントを記入して、必ず学生に返却します。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保			
実務経験のある教員等による授業内容							